



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月12日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 リンガーハット

コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋本 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部兼品質保証チーム担当 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	30,466	9.0	2,020	54.2	1,891	47.4	941	107.3
27年2月期第3四半期	27,946	3.1	1,310	40.9	1,282	49.4	454	24.6

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 976百万円 (52.9%) 27年2月期第3四半期 638百万円 (57.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	43.08	—
27年2月期第3四半期	20.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	26,306	11,017	41.9	515.65
27年2月期	25,941	11,866	45.7	540.17

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 11,017百万円 27年2月期 11,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	5.00	—	8.00	13.00
28年2月期	—	9.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	6.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 2月期の連結業績予想(平成27年 3月 1日～平成28年 2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	3.5	2,600	15.9	2,500	13.0	1,100	14.5	50.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	22,067,972 株	27年2月期	22,067,972 株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	701,234 株	27年2月期	100,580 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	21,850,975 株	27年2月期3Q	21,975,770 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付書類】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2) 本資料のサマリー情報、【添付書類】2ページ「経営成績に関する説明」及び9ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、政府による経済・金融政策を背景に、一部企業の収益改善や賃金上昇、またインバウンド(訪日外国人)による消費拡大などの動きが見られるものの、円安の影響による輸入品価格の上昇などにより景気は足踏みの状況が続いております。

外食産業におきましても、円安による原材料価格の上昇や人件費の上昇、より品質を重視した消費者志向による差別化、同業種はもちろんのこと他業種との顧客獲得競争の激化など一層厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、当社グループは前連結会計年度に引き続き、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、スピーディかつ強固な企業体質作りを推進するとともに、食材の国産化などによる食の「安全・安心」の先進企業としてさらなる企業価値向上に努めてまいりました。

国内の新店及び退店につきましては、「長崎ちゃんぽんリンガーハット」を北陸の石川県及び富山県に初出店するなど、ショッピングセンター内のフードコートを中心に39店舗を出店し、郊外ロードサイド店舗のリロケートを含め11店舗を退店いたしました。「とんかつ浜勝」においても富山県及び岐阜県に初出店するなど4店舗を出店し3店舗を退店いたしました。

海外の新店及び退店につきましては、「長崎ちゃんぽんリンガーハット」をタイ国に2店舗、米国ハワイ州及び香港に各1店舗、合計4店舗を出店し、米国ハワイ州の1店舗を契約満了により退店いたしました。「とんかつ浜勝」においてもアジア初進出となるタイ国バンコクに1店舗を出店いたしました。その結果、当連結累計会計期間末の当社グループ合計の店舗数は前連結会計年度末より33店舗増加し、国内700店舗、海外11店舗の計711店舗(内直営505店舗、F C 206店舗)となりました。

また、全店舗の当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は102.8%となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は304億66百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益は20億20百万円(同54.2%増)、経常利益は18億91百万円(同47.4%増)、四半期純利益は9億41百万円(同107.3%増)と、大幅な増収増益となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

リンガーハットにつきましては、春の期間限定商品として国産レタスを使用した「ふわふわたまごのレタスチャーハン」、お客さまの声から生まれた「減塩長崎ちゃんぽん」「野菜たっぷり食べるスープ」などの商品を販売するとともに、夏の期間限定商品として「冷やしちゃんぽん」白・黒・赤の3種類を同時発売いたしました。

また、西日本エリア店舗において「長崎ちゃんぽん」「皿うどん」などの主要商品のブラッシュアップに取り組み、安定確保が難しく平成21年の野菜国産化に伴い使用を見合わせていた「きくらげ」を平成27年8月より「国産のきくらげ」として復活させ、合わせて価格改定を実施いたしました。

さらに、冬季限定商品として毎年好評をいただいている、広島県産の牡蠣を使用した「かきちゃんぽん(みそスープ及びトムヤムクン風スープ)」を平成27年10月より期間限定販売を開始いたしました。

商品戦略の展開とともに、調理及びサービスコンテストを積極的に実施するなどお客さま満足度向上に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は102.0%となり、売上高は227億42百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は13億39百万円(同76.5%増)となりました。

(とんかつ事業)

浜勝につきましては、とんかつの美味しさと安全な食材へのこだわり、ごはん・味噌汁・キャベツはそれぞれ2種類から選べる食の楽しさ、「お客さまに楽しいお食事のひとつを心ゆくまで味わっていただきたい」というおもてなしの心をお客さまにお伝えしてまいりました。

また、自家製デザートと豊富な種類の飲物をお好きなお楽しみいただけるデザートビュッフェも9店舗まで拡大し、「おかわりかつ」「食べ方いろいろのソース」の販売も開始いたしました。

さらに、平成27年10月より秋冬恒例の期間限定人気商品「かきふらい」メニュー3商品の販売を開始した結果、既存店の売上高は平成24年6月から当第3四半期累計期間末までの42ヶ月連続で前年を上回り、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率も105.6%となり、売上高は75億91百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は5億66百万円(同25.7%増)となりました。

(設備メンテナンス事業)

リンガーハット開発株式会社につきましては、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は13億15百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は1億29百万円(同24.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億64百万円増加し263億6百万円となりました。これは主に積極的な出店に伴う建物及び構築物の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ12億13百万円増加し152億88百万円となりました。これは主に有利子負債の増加によるものであります。

純資産は自己株式の取得による減少及び利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ8億48百万円減少し110億17百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月8日に発表した前回予想から変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億19百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産、負債及び利益剰余金に与える影響は軽微であります。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,857,072	1,707,606
売掛金	629,779	670,312
商品及び製品	52,064	74,479
仕掛品	10,402	41,910
原材料及び貯蔵品	251,658	253,279
前払費用	326,393	301,948
繰延税金資産	98,201	100,123
未収入金	731,026	667,578
その他	146,758	214,659
流動資産合計	4,103,356	4,031,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,024,547	8,546,086
機械装置及び運搬具(純額)	728,268	761,582
土地	5,343,927	4,861,182
リース資産(純額)	204,473	194,733
建設仮勘定	73,152	75,367
その他(純額)	584,668	733,802
有形固定資産合計	14,959,038	15,172,754
無形固定資産	392,324	374,794
投資その他の資産		
投資有価証券	1,879,512	1,931,055
差入保証金	998,733	1,040,812
建設協力金	134,858	94,473
敷金	2,510,131	2,540,443
繰延税金資産	673,092	667,223
その他	313,375	475,855
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	6,487,097	6,727,257
固定資産合計	21,838,460	22,274,807
資産合計	25,941,816	26,306,706

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	880,576	961,930
1年内償還予定の社債	200,000	326,000
短期借入金	1,670,000	2,330,000
1年内返済予定の長期借入金	1,822,462	1,545,596
リース債務	86,964	94,532
未払金	724,961	734,466
未払費用	869,722	1,181,025
未払法人税等	578,662	373,645
未払消費税等	530,063	274,102
株主優待引当金	61,973	47,381
店舗閉鎖損失引当金	4,100	13,441
販売促進引当金	7,775	5,472
資産除去債務	3,962	9,992
その他	272,383	314,143
流動負債合計	7,713,607	8,211,729
固定負債		
社債	60,000	1,232,000
長期借入金	3,279,231	2,592,128
長期未払金	424,571	424,664
リース債務	277,040	260,744
株式給付引当金	13,914	49,942
退職給付に係る負債	826,909	976,473
長期預り保証金	387,134	385,457
資産除去債務	1,064,798	1,128,867
その他	28,450	26,886
固定負債合計	6,362,051	7,077,164
負債合計	14,075,659	15,288,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,066,122	5,066,122
資本剰余金	4,486,942	4,486,942
利益剰余金	1,922,013	2,488,327
自己株式	△169,873	△1,619,210
株主資本合計	11,305,205	10,422,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	442,348	485,164
為替換算調整勘定	62,106	54,385
退職給付に係る調整累計額	56,496	56,080
その他の包括利益累計額合計	560,951	595,630
純資産合計	11,866,157	11,017,812
負債純資産合計	25,941,816	26,306,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	26,890,314	29,413,915
売上原価	9,036,253	9,627,516
売上総利益	17,854,060	19,786,398
その他の営業収入	1,056,303	1,052,213
営業総利益	18,910,363	20,838,612
販売費及び一般管理費	17,600,039	18,818,492
営業利益	1,310,324	2,020,120
営業外収益		
受取利息	3,122	4,013
受取配当金	9,580	11,045
為替差益	20,162	—
その他	39,847	19,969
営業外収益合計	72,712	35,027
営業外費用		
支払利息	67,660	53,788
持分法による投資損失	8,139	6,037
社債発行費	—	33,858
為替差損	—	17,813
その他	24,535	52,531
営業外費用合計	100,335	164,029
経常利益	1,282,701	1,891,118
特別利益		
固定資産売却益	—	13
収用補償金	395	27,831
特別利益合計	395	27,844
特別損失		
固定資産売却損	114,842	352
固定資産除却損	31,085	53,176
店舗閉鎖損失引当金繰入額	57,915	13,441
減損損失	115,406	130,646
特別損失合計	319,250	197,617
税金等調整前四半期純利益	963,846	1,721,346
法人税等	510,015	779,989
少数株主損益調整前四半期純利益	453,830	941,356
少数株主損失(△)	△342	—
四半期純利益	454,172	941,356

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	453,830	941,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171,971	42,815
為替換算調整勘定	9,225	△7,360
退職給付に係る調整額	—	△416
持分法適用会社に対する持分相当額	3,438	△360
その他の包括利益合計	184,635	34,678
四半期包括利益	638,465	976,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	638,465	976,035
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)

(株主資本の金額の著しい変動)

当社は、平成27年8月20日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第3四半期連結累計期間において、自己株式を1,447,200千円(600,000株)取得しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式の残高は1,619,210千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	20,755,593	7,065,298	125,725	27,946,617	—	27,946,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,070,527	1,070,527	△1,070,527	—
計	20,755,593	7,065,298	1,196,252	29,017,144	△1,070,527	27,946,617
セグメント利益	759,014	450,905	103,450	1,313,369	△3,045	1,310,324

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は115,406千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	22,742,519	7,591,383	132,226	30,466,129	—	30,466,129
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,183,097	1,183,097	△1,183,097	—
計	22,742,519	7,591,383	1,315,324	31,649,227	△1,183,097	30,466,129
セグメント利益	1,339,962	566,636	129,049	2,035,649	△15,528	2,020,120

(注) 1. セグメント利益の調整額△15,528千円には、セグメント間取引消去2,294千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△17,823千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は56,457千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は48,831千円であります。

「設備メンテナンス」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において25,357千円であります。

5. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
平成28年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	19,115	7,806	26,922	7,004	1,323	8,328	470	367	36,088
連結累計 期間	店舗数 (店)	413	188	601	92	18	110	—	—	711
平成27年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	17,132	7,275	24,408	6,504	1,266	7,770	372	364	32,915
連結累計 期間	店舗数 (店)	392	175	567	88	19	107	—	—	674
対前年比率	売上高	111.6%	107.3%	110.3%	107.7%	104.5%	107.2%	126.1%	100.9%	109.6%
	店舗数	105.4%	107.4%	106.0%	104.5%	94.7%	102.8%	—	—	105.5%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。